

先生各位

## 検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、下記の項目におきまして、検査内容を変更させていただきますのでご案内申し上げます。  
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《変更日》 平成 21 年 12 月 3 日(木)受付分より

《変更内容》

総合 検査案内	検査 コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.23	0724	〔薬物分析検査〕 N-アセチル プロカインアミド	検体量	血清 0.4 mL	血清 0.3 mL
			検査方法	E I A法	F P I A法
			基準値	6.0 ~ 20.0 μg/mL (N-アセチルプロカ インアミドのみを測 定します)	10 ~ 30 μg/mL (プロカインアミド とN-アセチルプロカ インアミドの合計)
			報告下限	0.8 μg/mL 以下	0.5 μg/mL 以下
				採血の タイミング	次回投与直前 (Trough 濃度)
	0728	〔薬物分析検査〕 キニジン	検体量	血清 0.4 mL	血清 0.3 mL
検査方法			K I M S法	F P I A法	
基準値			2.0 ~ 6.0 μg/mL	2.3 ~ 5.0 μg/mL	

その他の検査内容に変更はございません。

総合 検査案内	検査 コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.24	0740	〔薬物分析検査〕 遊離フェニトイン	検査方法	限外ろ過法 KIMS法	限外ろ過法 FPIA法
	0738	〔薬物分析検査〕 遊離バルプロ酸 ナトリウム	検査方法	限外ろ過法 EIA法	限外ろ過法 FPIA法
			報告下限	1.2 µg/mL 以下	0.2 µg/mL 以下
P.25	0761	〔薬物分析検査〕 アセトアミノフェン	検体量	血清 0.4 mL	血清 0.2 mL
			検査方法	酵素法	FPIA法
			基準値	中毒域： 4時間後：200.0 以上 12時間後：50.0 以上 µg/mL	中毒域： 4時間後：200 以上 12時間後：50 以上 µg/mL
			報告下限	10.0 µg/mL 以下	2.0 µg/mL 以下
			主な商品名 (備考)	ピリナジン、カロナール、 アンヒバ、アルピニー (高ビリルビン検体、溶血 検体は避けてください)	ピリナジン、カロナール、 アンヒバ、アルピニー
	0735	〔薬物分析検査〕 アミカシン	検体量	血清 0.4 mL	血清 0.2 mL
			検査方法	KIMS法	FPIA法
			基準値	Peak： 20.0 ~ 30.0 Trough：8.0 以下 µg/mL	Peak：20 ~ 25 Trough：10 以下 µg/mL
			報告下限	0.7 µg/mL 以下	0.5 µg/mL 以下
			採血の タイミング	静注投与後 1 時間 (Peak 濃度) 次回投与直前 (Trough 濃度)	点滴静注後 30 分以内 筋注後 1 時間 (Peak 濃度) 次回投与直前 (Trough 濃度)
主な商品名 (備考)	ピクリン、硫酸アミカシン (アルベカシンとの交差反 応があるのでご注意ください)	ピクリン、硫酸アミカシン			

その他の検査内容に変更はございません。

総合 検査案内	検査 コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.25	0731	〔薬物分析検査〕 トブラマイシン	検体量	血清 0.4 mL	血清 0.2 mL
			検査方法	E I A法	F P I A法
			基準値	Peak : 4.0 ~ 9.0 Trough : 2.0 以下 μ g / mL	Peak : 4 ~ 10 Trough : 2 以下 μ g / mL
			報告下限	0.3 μ g / mL 以下	0.2 μ g / mL 以下
			採血の タイミング	静注投与後 1 時間 ( Peak 濃度 ) 次回投与直前 ( Trough 濃度 )	点滴静注後 30 分以内 筋注後 1 時間 ( Peak 濃度 ) 次回投与直前 ( Trough 濃度 )

その他の検査内容に変更はございません。

《 変更理由 》 委託先における変更（現行試薬の販売中止に伴う測定試薬の変更）